

開花期は平年よりも14日程度早くなりました。また、着果がやや不良な地域がみられます。果実肥大は並からやや不良です。

【気象】

表1. 令和3年2～4月の気象（アメダス佐倉）

月	半旬	平均気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
		本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
2月		6.9	6.8	4.8	63	33	58	214	191	170
3月		11.5	9.8	8.3	137	111	109	167	169	170
4月	1	15.1	12.4	11.1	47	28	21	26	33	30
	2	10.8	11.3	12.1	0	0	21	39	43	30
	3	12.5	10.3	13.0	14	75	20	32	32	29
	4	14.9	11.8	13.9	17	86	18	41	17	29
	5	14.4	11.9	14.7	0	23	17	53	26	29
	6	15.3	14.9	15.7	37	10	16	43	37	31
月平均/計		13.8	12.1	13.4	115	221	113	234	189	180

注1) 平年は平成3～令和2年の30年間の平均

【生育状況】

■開花・結実

本年の自発休眠（低温を必要とする休眠）覚醒日は平年より5日程度遅くなりましたが、覚醒後の2～3月の気温が平年と比べ2.1～3.2℃高く推移したため、満開が平年と比べ15～16日早くなりました（表1、表2）。農林総研の開花盛は、前年と比べ「幸水」で4日、「豊水」で2日早く、平年と比べ「幸水」、「豊水」とともに15日早くなりました（表2）。農林総研の「幸水」及び「豊水」の満開日は過去最も早くなりました。

着果は、開花期の天候が良かったため、並～良の地点が多いですが、開花期の後半に低温と降雨があったこともあり、開花が遅い品種では着果がやや不良の地域がありました（表3）。

■果実の肥大

5月10日の果実の大きさを満開後日数の横径の平均値で比較すると、平年と比べ農林総研の「幸水」が94%、「豊水」が102%でした（表2）。

表2. 基準調査園における生育調査（5月10日）

品種	調査地	樹齢	開花期 (月/日、(日))			着果状況	横径 (cm、%)			縦径 (cm、%)		
			始	盛	終		果径	暦日	満開後	果径	暦日	満開後
幸水	農林総研	16	3/28(+1, +14)	3/31(+4, +15)	4/3(+7, +17)	並	2.40	(115, 140)	(105, 94)	2.30	(115, 140)	(107, 100)
	市川市	36	3/29(+4, +15)	4/1(+6, +16)	4/6(+4, +16)	良	2.37	(141, 138)	(112, 93)	2.14	(126, 129)	(104, 94)
豊水	農林総研	41	3/27(-1, +11)	3/29(+2, +15)	4/1(+5, +17)	やや不良	2.71	(136, 148)	(134, 102)	2.58	(125, 138)	(121, 101)
	鎌ヶ谷市	37	3/28(+3, +15)	4/1(+3, +15)	4/5(+4, +15)	良	2.57	(129, 145)	(114, 99)	2.46	(127, 134)	(115, 98)

注1) 開花期の()は、前年及び平年との差を示した。－は遅い、＋は早いとした。

2) 横径及び縦径の()は、前年及び平年の値を100とした比で表した。

【栽培管理のポイント】

■本摘果の実施

「幸水」等の早生品種は早急に実施しましょう。「幸水」及び「豊水」の本摘果後の着果数は、裂果や軸折れの発生を見込んで、目標収穫果数の約10%増しにします。

■新梢管理

翌年の短果枝の花芽を確保するため、再伸長した短果枝は、5月下旬の短いうちに、果そう葉の2芽上（葉のない芽）で摘心します。摘心は側枝背面の果そうから発生したもの、側枝基部付近等を優先するとともに、樹勢等を考慮し過度の実施は避けてください。

■「幸水」の予備枝の育成

先端の新梢以外で伸長するものは、3葉残して摘心します。予備枝候補の新梢は仰角30°程度に誘引します。

■病害虫対策

千葉県（5月18日発表）の病害虫発生予報によると、向こう1か月間の予想発生量は、黒星病がやや多、アブラムシ類がやや少、カメムシ類が並となっています。

気象庁（5月13日発表）によると、6月14日までの予報として、平年に比べ曇りや雨の日が多いとしています。気温は平年より高く、降水量は多く、日照時間は少ないと予測されており、黒星病の発生が懸念されます。黒星病のスス状の病斑がある果そうや果実等は見つけ次第除去し、土中に埋めるか園外に持ち出します。6月下旬頃までは、発病葉は取り除きます。治療効果のあるDMI剤は連用すると耐性菌出現の可能性があるため、使用は年3回以内とします。黒星病の発生が多い園では、病斑のある葉や果実の除去を徹底するとともに、散布間隔があく場合は臨機防除を行います。

表3. 協力調査地における生育調査の結果（5月10日）

品種	調査地	樹齢	開花期(月/日)			開花状況	果径(cm)		着果状況	病害虫発生状況及び特記事項
			始	盛	終		横径	縦径		
幸水	市原市	10	4/1 (4/6)	4/4 (4/8)	4/6 (4/14)	やや少	2.36 (1.77)	2.20 (1.76)	やや悪	アブラムシ、黒星少
	木更津市	22	3/28 (4/2)	4/2 (4/6)	4/7 (4/14)	並	- (-)	- (-)	並	
	館山市	30	3/29 (4/4)	4/2 (4/8)	4/5 (4/11)	並	2.48 (1.86)	2.50 (2.01)	並	
	印西市	23	3/29 (4/3)	4/2 (4/7)	4/5 (4/13)	並	2.68 (2.22)	2.35 (2.01)	やや悪	
	柏市	18	3/30 (4/3)	4/3 (4/8)	4/11 (4/16)	並	2.55 (2.05)	2.21 (1.81)	やや良	
	いすみ市	38	4/2 (4/8)	4/4 (4/10)	4/6 (4/12)	並	2.47 (1.94)	2.02 (1.74)	並	
	一宮町	25	4/3 (4/8)	- (4/9)	4/6 (4/10)	-	2.00 (1.67)	1.80 (1.53)	-	
	香取市	28	4/2 (4/5)	4/7 (4/7)	4/12 (4/12)	並	2.33 (1.95)	2.07 (1.90)	並	
豊水	八千代市	18	3/30 (-)	4/4 (4/7)	4/9 (-)	並	2.33 (2.11)	2.45 (2.03)	並	
	旭市	41	3/29 (4/5)	4/1 (4/8)	4/3 (4/12)	多	2.87 (2.60)	2.74 (2.90)	やや良	アブラムシ
	香取市	17	3/24 (4/1)	3/31 (4/3)	4/3 (4/7)	並	2.83 (2.43)	2.41 (2.37)	並	
	四街道市	8	3/25 (3/24)	3/31 (4/3)	4/4 (4/6)	並	2.59 (2.50)	2.59 (2.50)	良	
あきづき	鎌ヶ谷市	22	3/29 (3/30)	4/1 (4/4)	4/5 (4/9)	並	2.56 (2.02)	2.37 (2.06)	並	
	船橋市	10	3/27 (3/30)	4/1 (4/5)	4/6 (4/9)	多	2.47 (2.03)	2.27 (2.05)	良	
	松戸市	15	3/28 (3/28)	3/30 (4/2)	4/2 (4/4)	並	2.30 (2.19)	2.20 (2.31)	良	
	いすみ市	12	3/28 (4/1)	4/2 (4/6)	4/10 (4/10)	並	2.23 (1.97)	2.09 (1.90)	並	

注) () 内の値は、前年の値を記載した。

【生育情報の問合せ先:千葉県農林総合研究センター 果樹研究室 電話 043-291-9989】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>